


～イザナギの禊祓と神々の化成～

みそぎはらへ

かせい




イザナギノミコト

禊祓

杖	ツキタツフナトノカミ	帯	ミチノナガチハノカミ	囊	トキハカシノカミ	衣	ワヅラヒノウシノカミ
袴	チマタノカミ	冠	アキグヒノウシノカミ	装身具(左)	オキザカルノカミ オキツナギサビコノカミ オキツカヒベラノカミ	装身具(右)	ヘザカルノカミ ヘツナギサビコノカミ ヘツカヒベラノカミ

①黄泉の国から帰られたイザナギノミコトは「私はなんと汚らわしい国に行ったことだろう。」と禊祓いをなさいました。イザナギノミコトの杖、帯、囊、衣、袴、冠、腕輪から神々がお生まれになります。



イザナギノミコト

ヤノマガツノカミ

オホマガツノカミ

②イザナギノミコトは「上流は流れが速い。下流は流れが遅い。」といわれて、中流の背において水中にもぐり、心身の穢れを洗い清めた時に二神が生まれました。この二神は「禍事(凶事、穢れ)の神様」です。



イザナギノミコト



カムナホビノカミ / オオナホビノカミ

イツノメ

③その禍を直す神が次々とお生まれになります。



イザナギノミコト



(ワタツミサンシン)

ウハツワタツミノカミ	水の上	ウハツツノカミ
ナカツワタツミノカミ	水の中	ナカツツノカミ
ソコツワタツミノカミ	水の底	ソコツツノカミ

④次に、水にもぐって、身を清められた時に次々と神々が生まれます。



イザナギノミコト



アマテラスオホミカミ



ツクヨミノミコト



タケハヤスサノヲノミコト

⑤穢れを祓った最後の最後に誕生したのが三貴神といわれる神々です。イザナギノミコトが左の目を洗われた時にお生まれになられた神がアマテラスオホミカミ、右の目を洗われた時にお生まれになられた神がツクヨミノミコト、鼻を洗われた時にお生まれになられた神がタケハヤスサノヲノミコト。『古事記』の中心的な役割を担う神々が化成されます。